

# 『徒手療法家のための基礎講座』

Web第6期 「症状に基づく検査から治療まで」

頭痛②

問診／觀察

# リスクマネジメント

1. 頭痛関連の一時性失神
2. 初めての激しい頭痛に突然襲われる
3. 頭痛関連の神経異常
4. 頭痛関連の体温上昇
5. 50歳以降の頭痛の始まり
6. 圧力上昇関連の頭痛(咳、屈曲、バルサルバ、性交)
7. 最近の血圧上昇の状況
8. 人格の変化
9. 頭部外傷歴後の頭痛
10. 脈拍障害および呼吸障害
11. 永続性感覚障害
12. 視野欠損の始まり

## 脳梗塞の初期症状（一過性脳虚血発作：TIA）

1. 口の動きの異変・ろれつが回らなくなる（構音障害）
2. 言葉が出なくなる（失語症）
3. 口をうまく閉められなくなる
4. 顔に歪みが出る（片側顔面まひ）
5. 片方の手足に力が入らない・痺れが起こる（片まひ）
6. 片方の目に膜がかかったように見えなくなる（一過性黒内障）
7. 視野が狭くなる
8. 目の焦点が合わなくなる
9. 物が二重・三重になって見える
10. 人の言うことがうまく理解できない
11. 思ったように文字が書けない

## 脳梗塞の前兆

1. 原因不明の頭痛や肩こりが、突然発生する
2. めまいや耳鳴り、手足のしびれ、震えなどの症状が起こりやすい
3. 歩き方がフラフラしていて、障害物がないのに躓く
4. 階段や段差があるところで、片方の足がよく引っかかる
5. 指先が思うように動かなくなってきた
6. 字が汚くなったといわれる
7. 簡単な計算が咄嗟にできないことが増えた
8. 物忘れが多くなった
9. 顔や唇がしびれていると感じる時がある
10. ろれつが回りにくくなった
11. 飲み物や食べ物が飲み込みにくく感じる
12. 痰がからんだり、むせこむことが増えた
13. 声がうまく出ないと感じることがある

脳梗塞以外で1～13の症状がでるのか？

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	

視診

頭部や頸部の位置、顔面の状態に注意する。  
特に顔面の状態がおかしい時は禁忌症となる問題が隠れているかも知れない。

※顔面部の異常に関しては神経学検査のところであわせて説明します。

頭の位置

- ・前方頭位姿勢の有無

頸部の位置

顔面の状態

- ・色調
- ・眼瞼下垂
- ・眼球の位置（斜視や眼球突出、眼球陥凹など）
- ・眼振



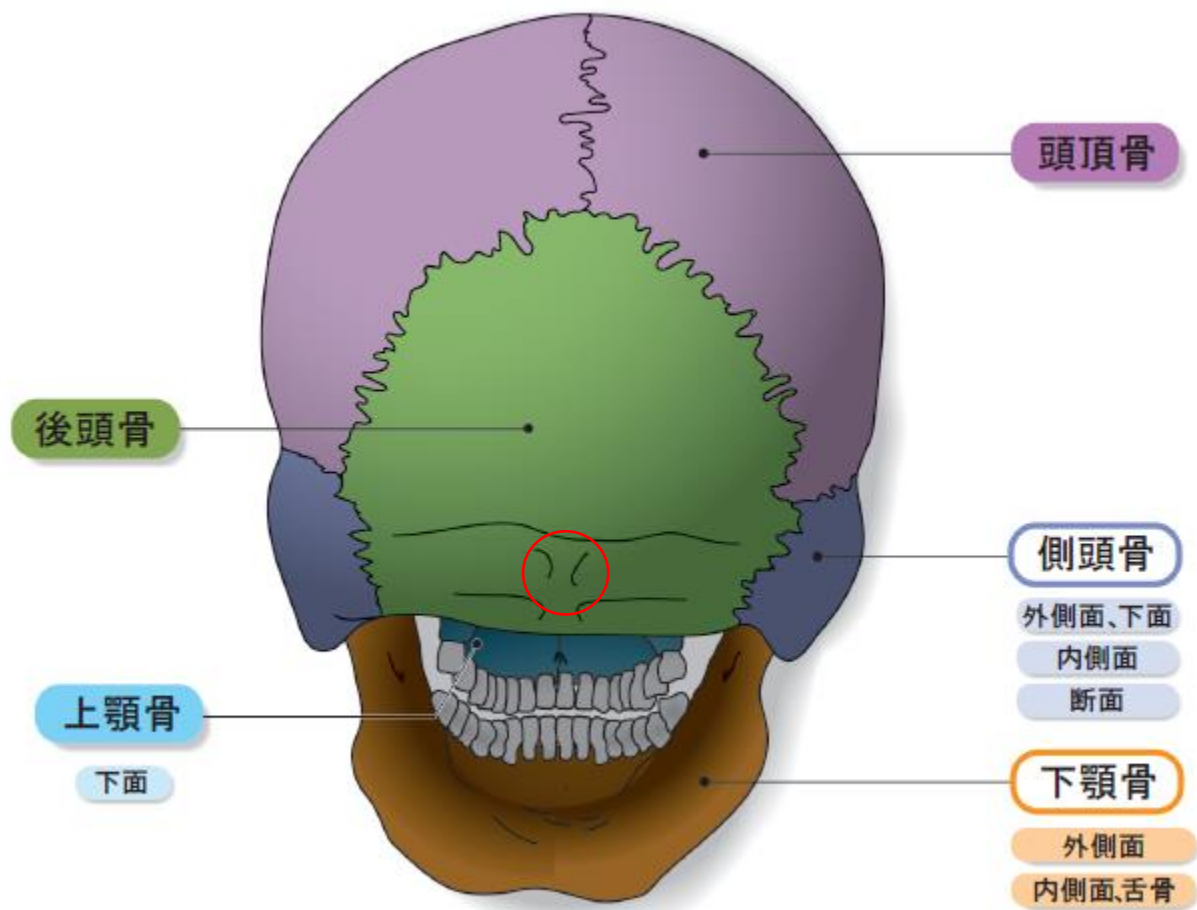
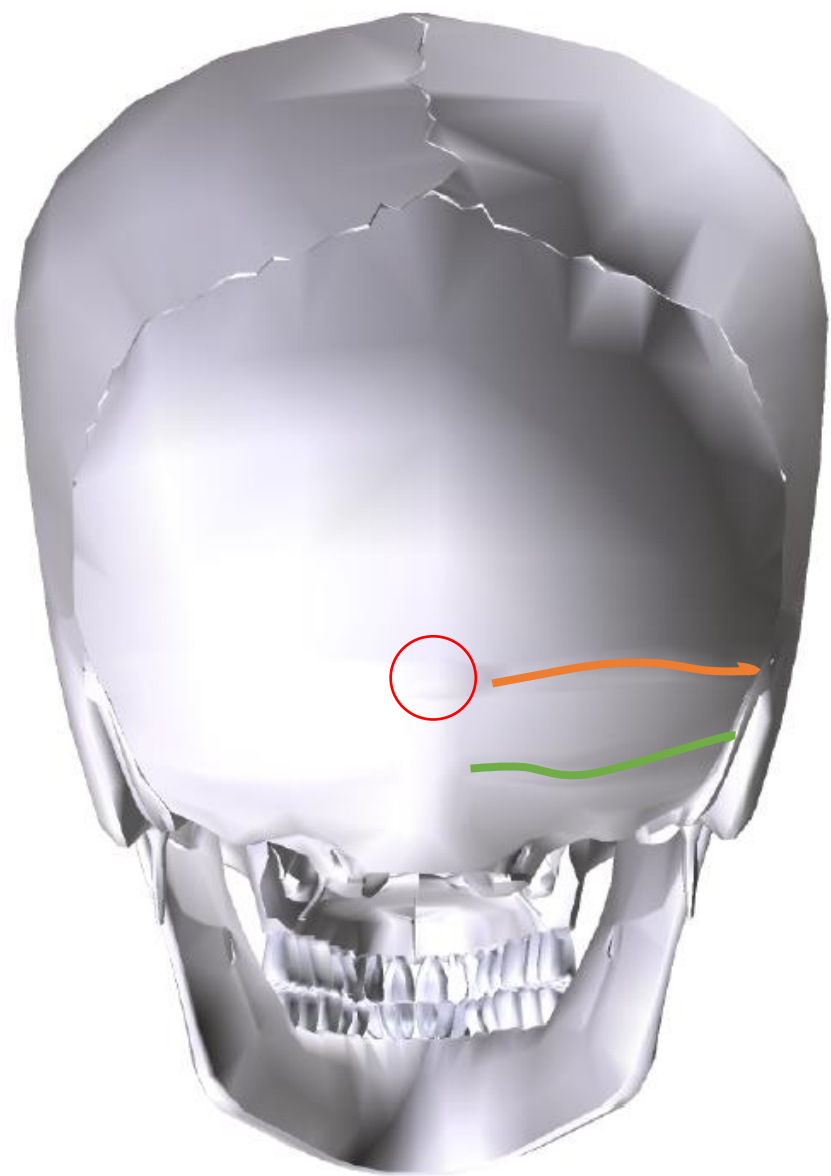
触診

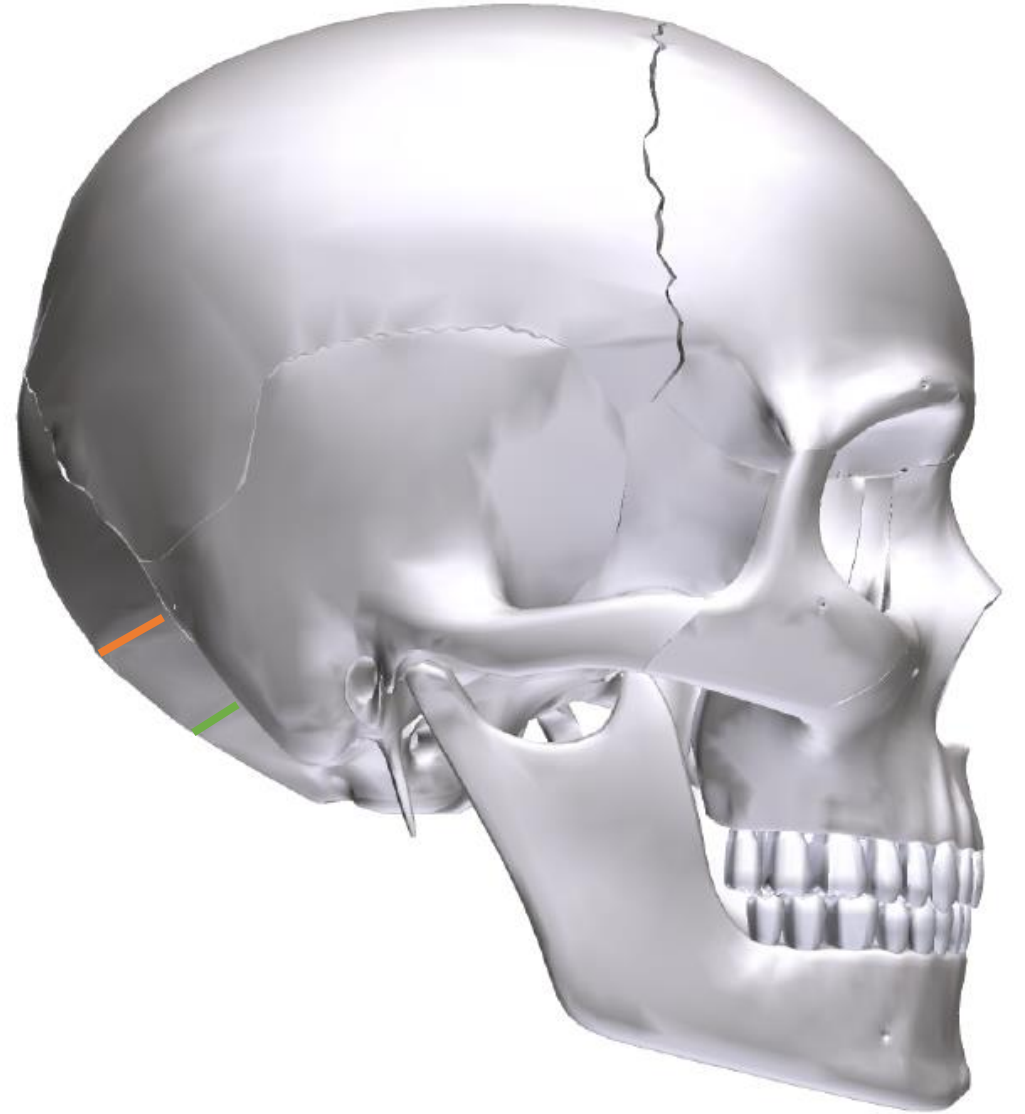
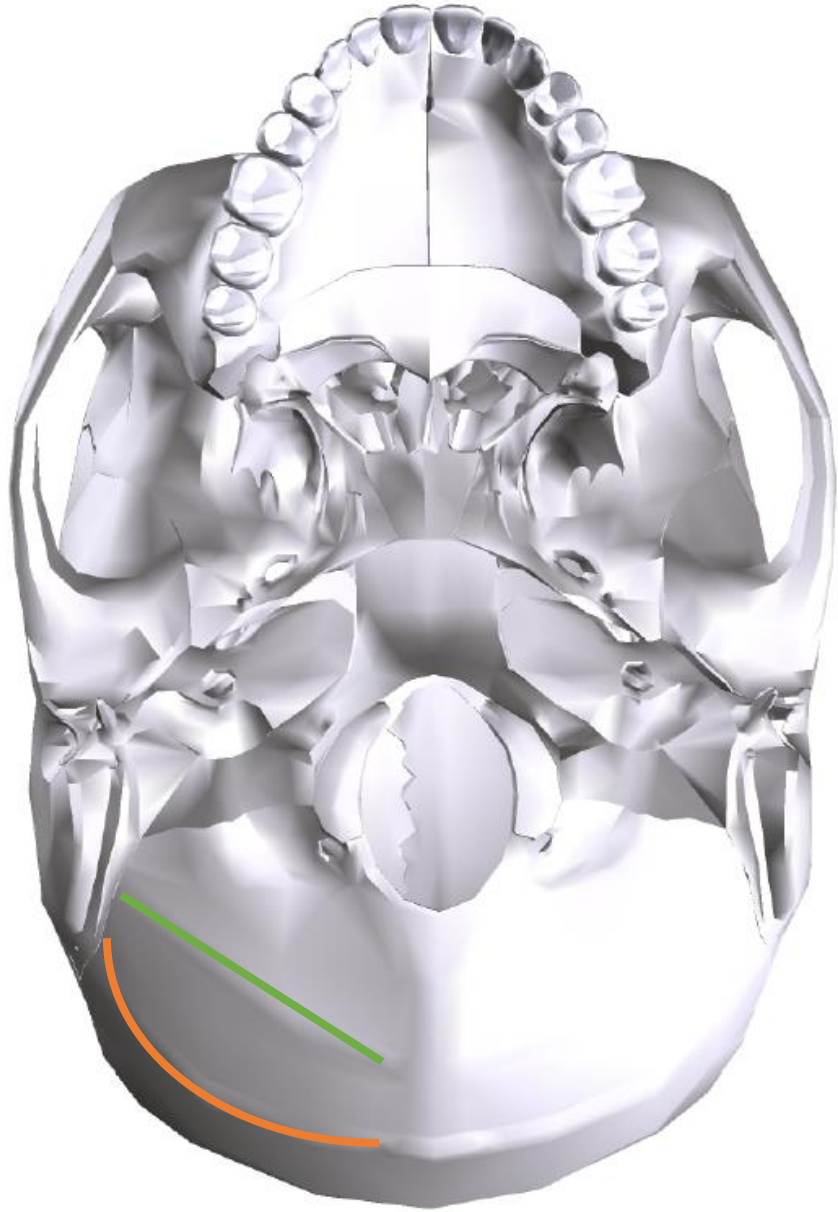
## A. 骨触診

- ・ 頭蓋底
- ・ 外後頭隆起
- ・ 上項線
- ・ 乳様突起
- ・ 棘突起
- ・ 関節突起/椎弓
- ・ 肩甲骨

## B. 軟部組織

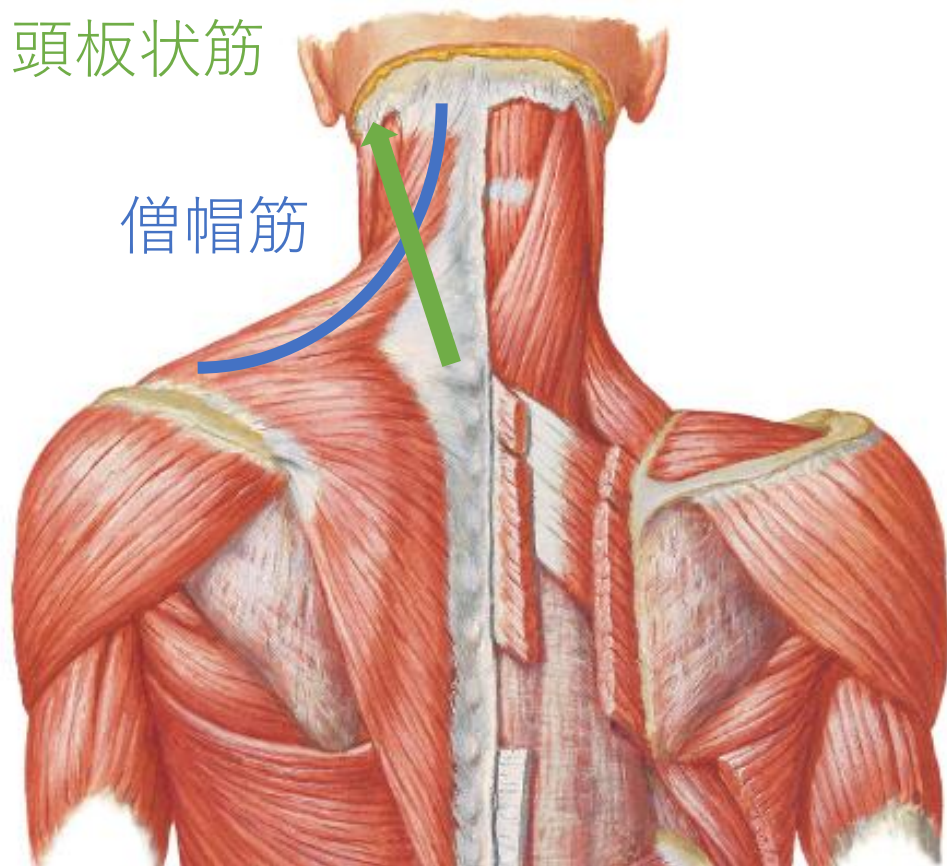
- ・ 胸鎖乳突筋
- ・ 斜角筋
- ・ 僧帽筋
- ・ 肩甲挙筋
- ・ 板状筋
- ・ 半棘筋
- ・ リンパ節
- ・ 甲状腺
- ・ 頸動脈
- ・ 耳下腺
- ・ 鎖骨上窩
- ・ 項靱帯





頭板狀筋

僧帽筋

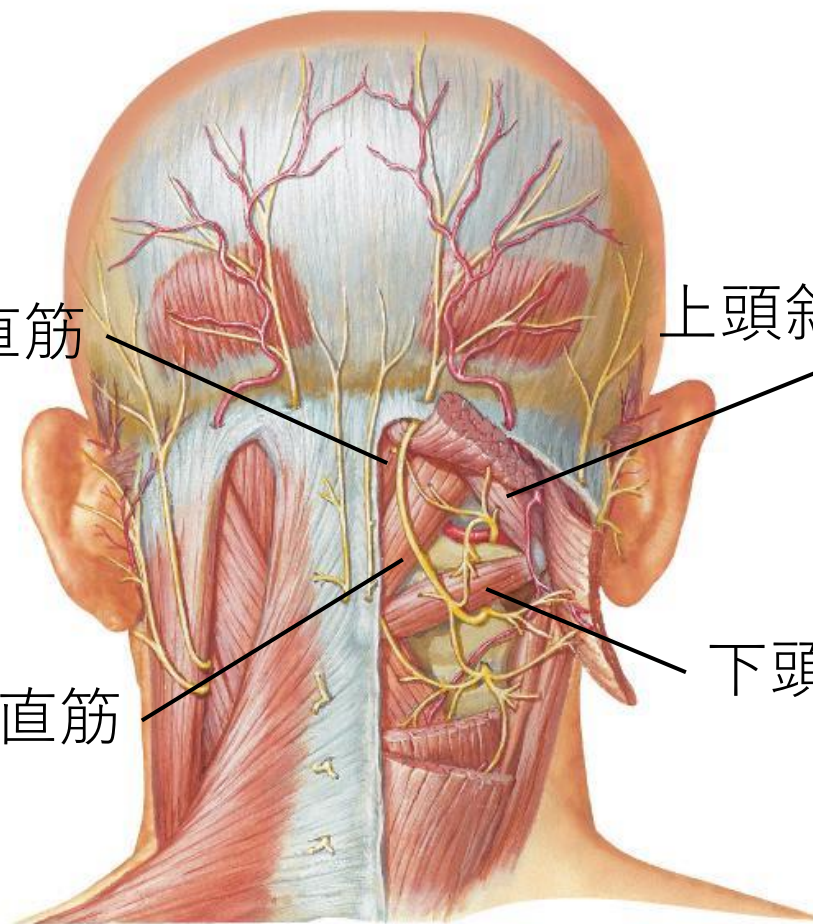


小後頭直筋

上頭斜筋

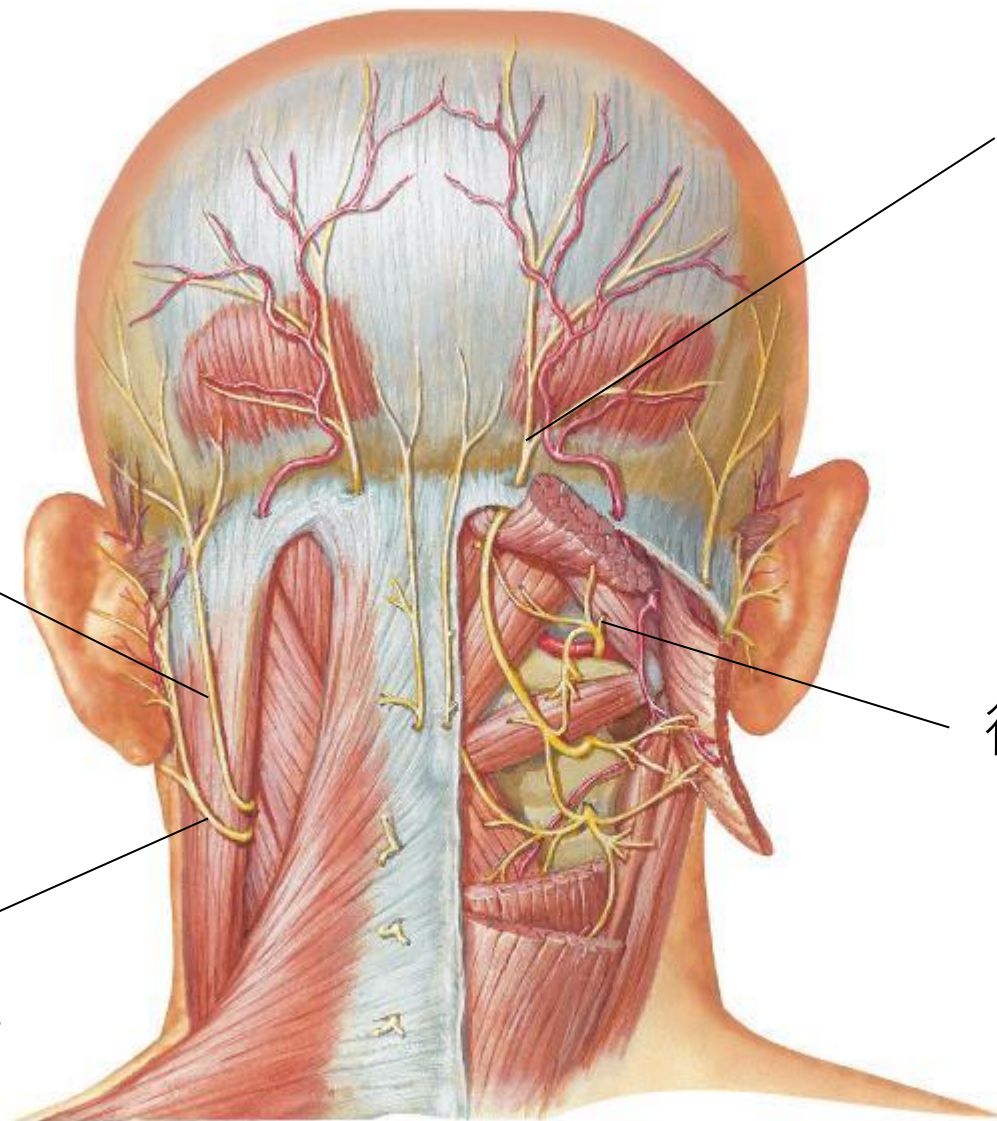
大後頭直筋

下頭斜筋



小後頭神經

大耳介神經



大後頭神經

後頭下神經

F. Netter  
M.D.  
© IGV

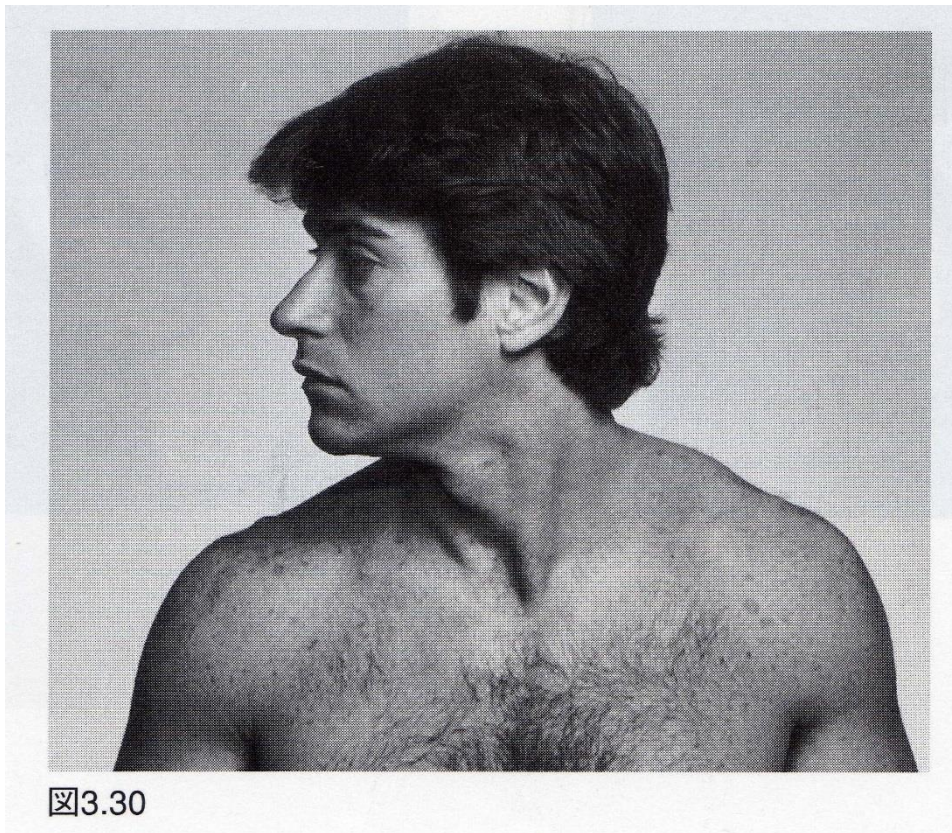
整形外科テスト

頭痛患者における整形外科テストはまず、椎骨脳底動脈の検査から行う。

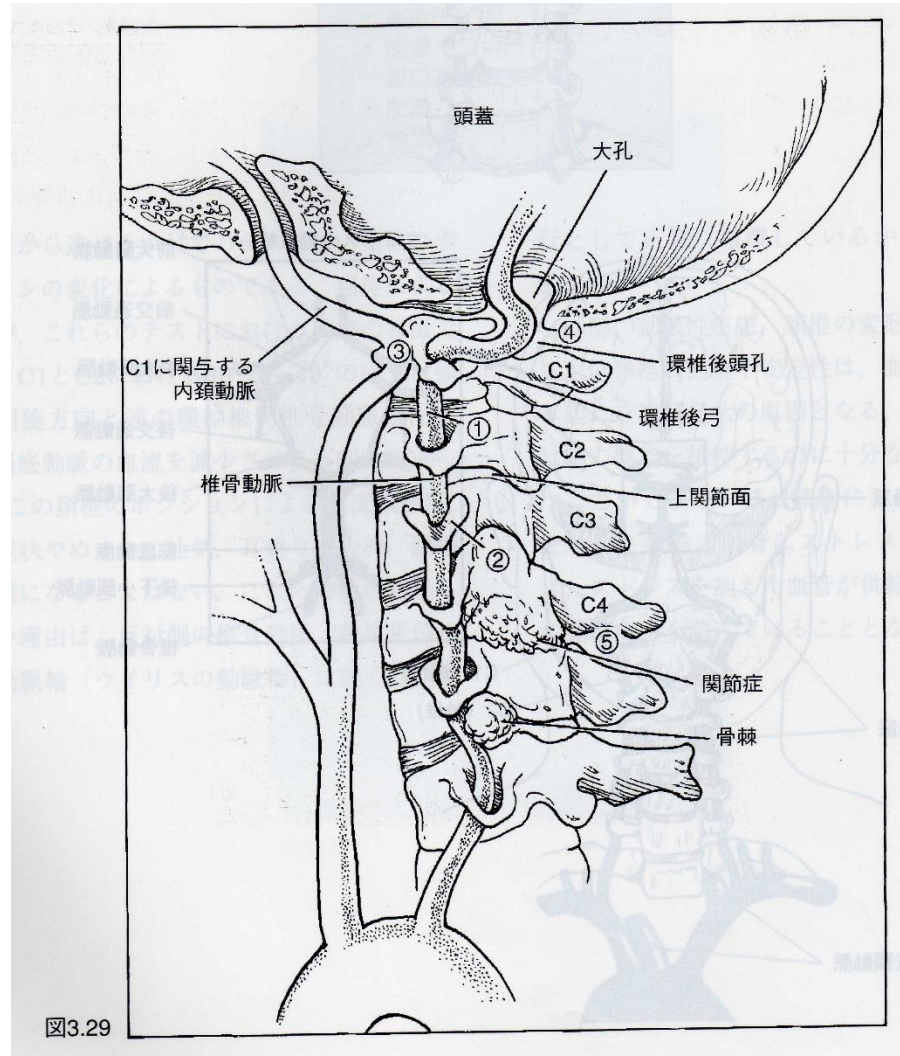
肩こりがひどくなると頭痛が出てくる場合は肩こりで紹介した整形外科テストも参照すること。



# 椎骨脳底部の検査／バレリーウー徴候



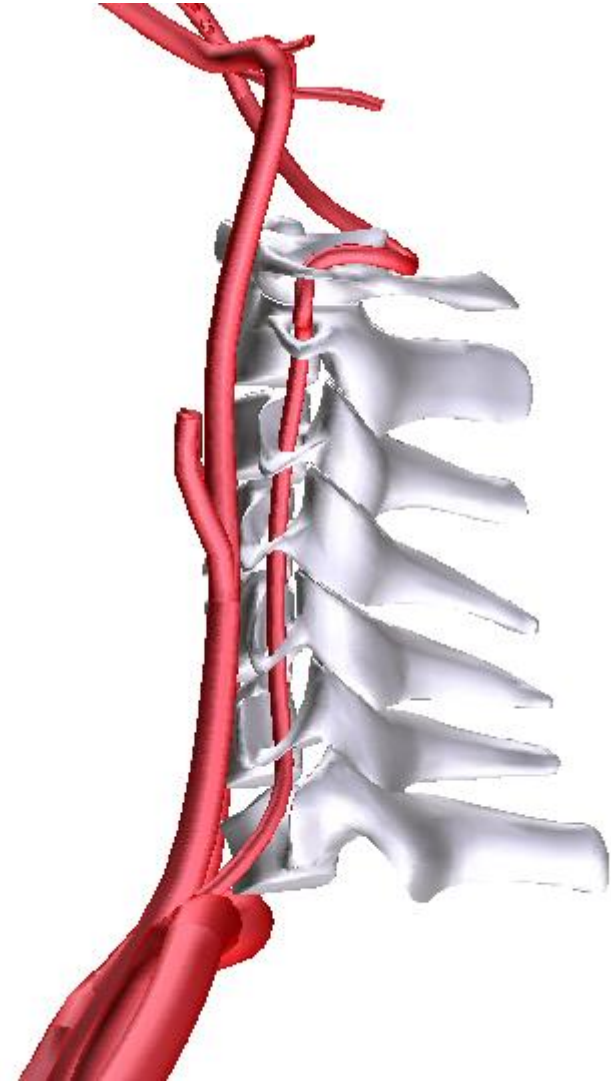
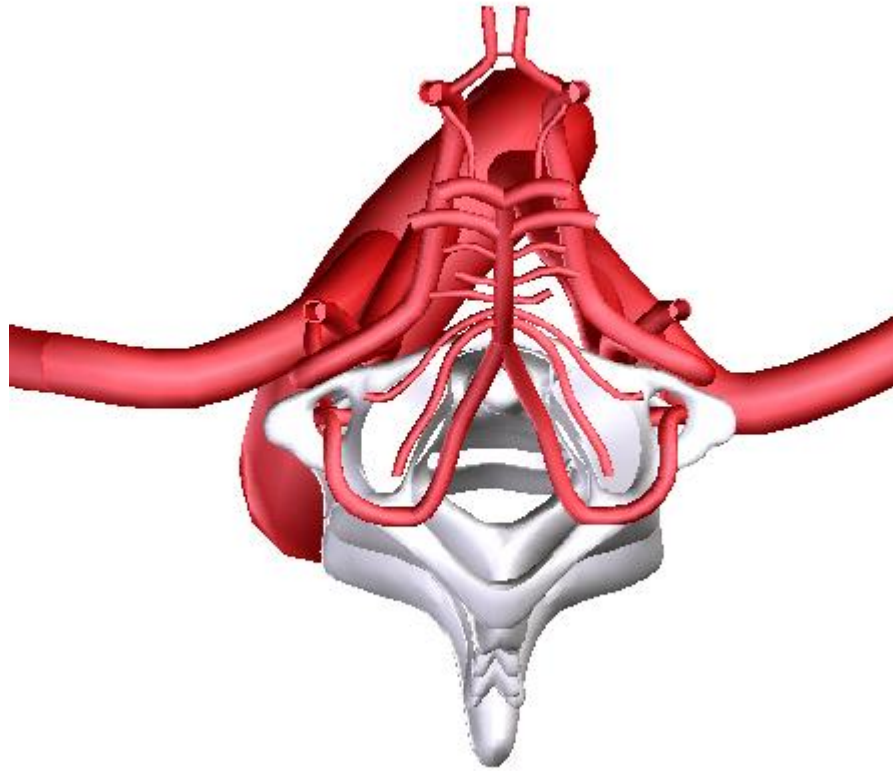
# 椎骨脳底部の圧迫部位

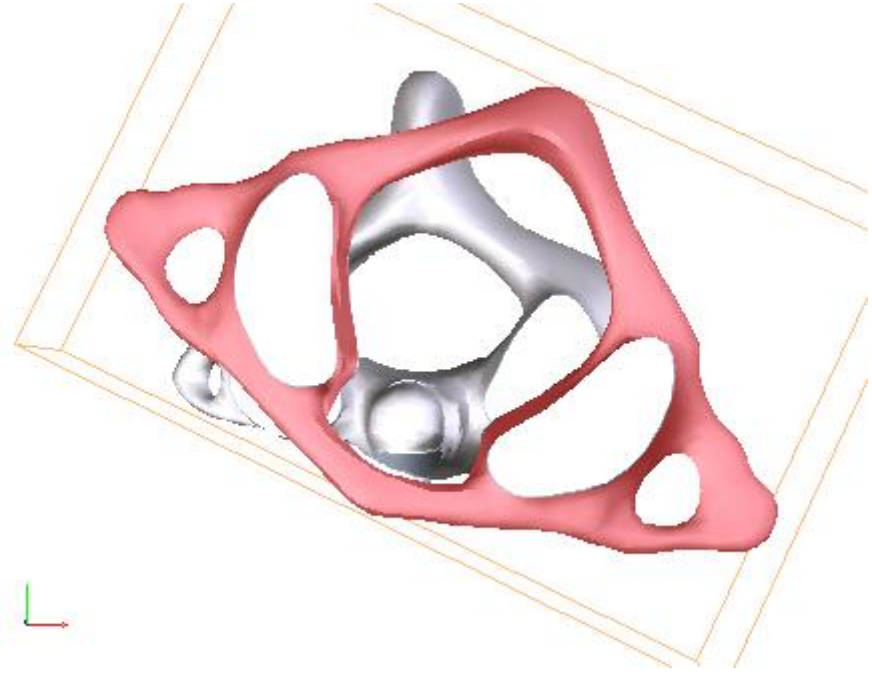
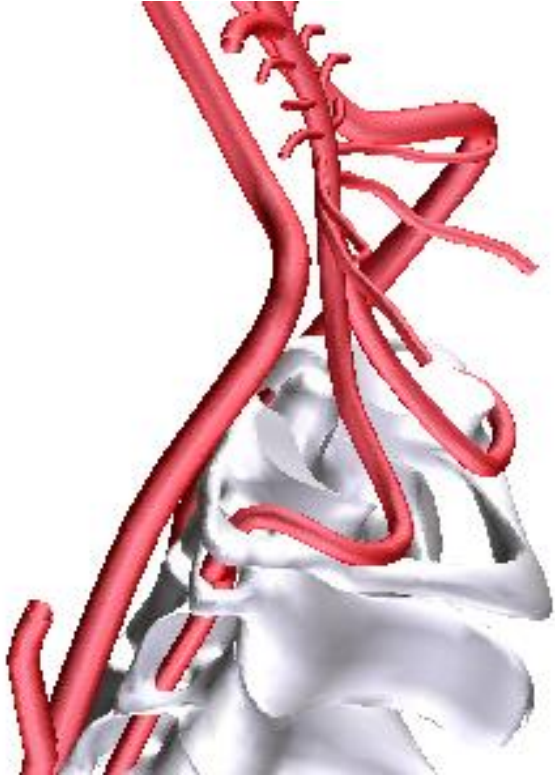


## カイロプラクティック的所見

- 環椎横突起の前方変位による内頸動脈・椎骨動脈への圧迫
- C2 - 6 後方横突起による椎骨動脈への圧迫
- 後頭骨屈曲変位による脳底動脈による圧迫

# 椎骨腦低動脈





# 椎骨脳底部の検査／マイグネテスト

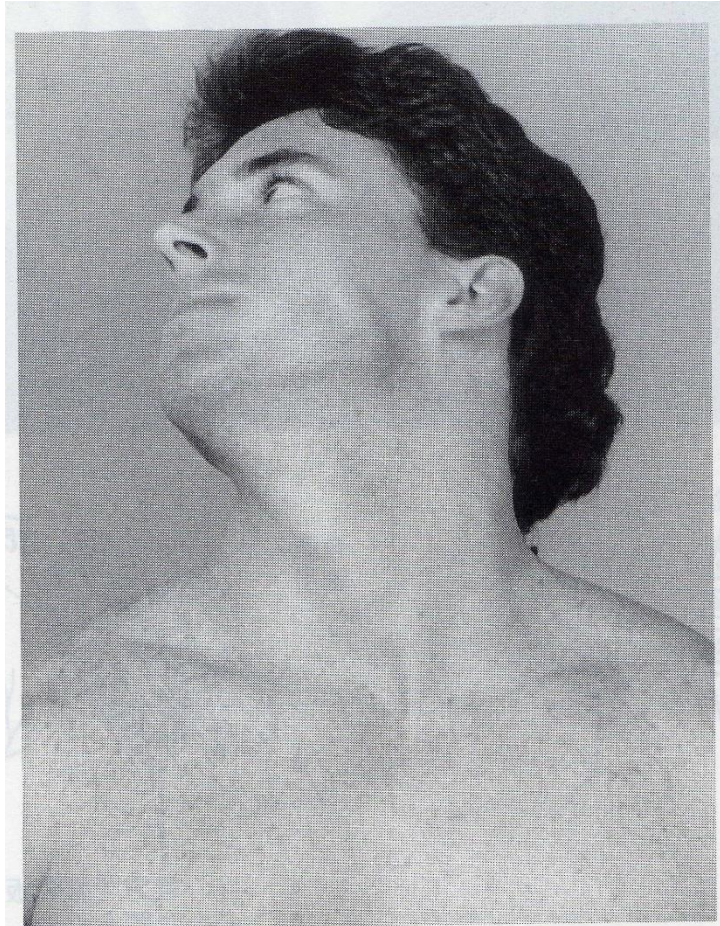


図3.76